BIOS セットアップ (Intel[®] 800 Series)

BIOS セットアップ	2
起動画面	3
メインメニュー	4
Smart Fan 6	6
Favorites (F11)	8
Tweaker	9
Settings	17
System Info.	
Boot	
Save & Exit	



このセクションで説明した BIOS セットアップメニューは、マザーボードによって異な ることがあります。表示される実際の BIOS セットアップオプションは、お使いのマザ ーボードおよび BIOS バージョンによって異なります。

 BIOSの設定の中には、マザーボードのチップセットと使用する CPU / メモリがその 機能をサポートしている場合のみ利用できるものがあります。Intel® CPU の固有機能 の詳細については、Intelの Web サイトにアクセスしてください。

BIOS セットアップ

BIOS (Basic Input and Output System) は、マザーボード上の CMOS にあるシステムのハードウエア のパラメータを記録します。主な機能には、システム起動、システムパラメータの保存、および オペレーティングシステムの読み込みなどを行うパワー オンセルフ テスト (POST) の実行など があります。BIOS には、ユーザーが基本システム構成設定の変更または特定のシステム機能の 有効化を可能にする BIOS セットアッププログラムが含まれています。

電源をオフにすると、CMOSの設定値を維持するためマザーボードのバッテリーが CMOS に必要な電力を供給します。

BIOS セットアッププログラムにアクセスするには、電源オン時の POST 中に <Delete> キーを押します。

BIOS をアップグレードするには、GIGABYTE Q-Flash または Q-Flash Plus ユーティリティのいず れかを使用します。

- Q-Flash により、ユーザーはオペレーティングシステムに入ることなく BIOS のアップグレードまたはバックアップを素早く簡単に行えます。
- Q-Flash Plus では、システムの電源が切れているとき (S5シャットダウン状態) に BIOS を更新 することができます。最新の BIOS を USB メモリに保存して専用ポートに接続すると、Q-Flash Plus ボタンを押すだけで自動的に BIOS を更新できます。

Q-Flash および Q-Flash Plus ユーティリティの使用に関する使用説明については、GIGABYTEの ウェブサイトの「独自機能」ページに移動し、「BIOS Update Utilities」を検索してご参照ください。



- BIOSの更新は潜在的に危険を伴うため、BIOSの現在のバージョンを使用しているときに問題が発生していない場合、BIOSを更新しないことをお勧めします。BIOSの更新は注意して行ってください。BIOSの不適切な更新は、システムの誤動作の原因となります。
- システムの不安定またはその他の予期しない結果を防ぐために、初期設定を変更しないことをお勧めします(必要な場合を除く)。誤ったBIOS設定しますと、システムは起動できません。そのようなことが発生した場合は、CMOS値を既定値にリセットしてみてください。
- CMOS 値を既定値にリセットする方法は、取扱説明書のバッテリー/クリア CMOS ジャンパー / ボタンの項目を参照するか、本書の「Load Optimized Defaults」項目を参照してください。

起動画面

コンピュータが起動するとき、次の起動ロゴ画面が表示されます。(画面はマザーボードによって異なる場合があります。)



機能キー:

: BIOS SETUP\Q-FLASH

<Delete>キーを押してBIOSセットアップに入り、BIOSセットアップでQ-Flashユーティリティにアクセスします。

<F12>: BOOT MENU

起動メニューにより、BIOS セットアップに入ることなく第1起動デバイスを設定できます。 起動メニューで、上矢印キー <↑> または下矢印キー <↓> を用いて第1起動デバイスを選択 し、次に <Enter> キーを押して確定します。システムはそのデバイスから起動します。 注:起動メニューの設定は1回のみ有効です。システム再起動後のデバイスの起動順序は BIOS セットアップの設定の順序となります。

<END>: Q-FLASH

<End>キーを押すと、先に BIOS セットアップに入る必要なく直接 Q-Flash Utility にアクセスします。

メインメニュー

Advanced Mode

Advanced Modeは、詳細なBIOS設定をすることができます。キーボードの矢印キーを押すことにより設定項目を切り替えることができ、<Enter>を押すことでサブメニューに入ります。また、マウスを使用して項目に選択することもできます。



Advanced Mode のファンクションキー

<←><→>	選択バーを移動させてセットアップ メニューを選択します。
<↑><↓>	選択バーを移動させてメニュー上の設定項目を選択します。
<enter>/Double Click</enter>	コマンドを実行するかまたはメニューに入ります。
<+>/ <page up=""></page>	数値を上昇させるかまたは変更を行います。
<->/ <page down=""></page>	数値を下降させるかまたは変更を行います。
<f1></f1>	ファンクションキーについての説明を表示します。
<f2></f2>	Easy Mode に切り替えます
<f3></f3>	現在のBIOS設定をプロファイルに保存する。
<f4></f4>	以前に作成したプロファイルからBIOS設定をロードします。
<f5></f5>	現在のメニュー用に前の BIOS 設定を復元します。
<f6></f6>	Smart Fan 6の画面を表示する。
<f7></f7>	現在のメニュー用に最適化された BIOS の初期設定を読み込みます。
<f8></f8>	Q-Flash Utility にアクセスします。
<f10></f10>	すべての変更を保存し、BIOS セットアッププログラムを終了します。
<f11></f11>	Favorites (お気に入り) サブメニューに切り替える。
<f12></f12>	現在の画面を画像としてキャプチャし。USB ドライブに保存します。
<insert></insert>	お気に入りのオプションを追加または削除する。
<ctrl>+<s></s></ctrl>	取り付けられているメモリの情報を表示します。
< Easy	メインメニュー:BIOS セットアッププログラムを終了します。サブメ
NESU2	ニュー:現在のサブメニューを終了します。
<alt>+ < F></alt>	お探しの BIOS 設定項目を検索するためのキーワードを入力します。

B. Easy Mode (Easy $\pm - \ddot{F}$)

Easy Mode は、迅速に現在のシステム情報を表示したり、最適なパフォーマンスを引き出すために調整を行うことができます。Easy Mode とAdvanced Mode の画面に切り替えるには、<F2>キーを押して簡単に切り替えることができます。

CAORUS				CED MODE 09/16/2024 14:27
() Help (F1)	🕀 Engl	ish 💙 Load Defaults (F7)	Save & Exit (F10)	rites (F11) Q. Search (Alt-F)
Information MB: 2890 AORUS XTREM BIOS Ver. TOm CPU: Intel®() core(TM) UIE 245K RAM: 1668 Microcode: 110	ME AI TOP 2a 5	CPU Frequency 5001.13 MHz 402.03 Memory Frequency 4800.14 MT/s	CPU Temp. P-core/d-core Voltage 48.0 1.113 v appa appa System Temp. Memory Voltage 39.0 1.059 v	GIGABYTE PerfDrive
00111511		Image: CPU_FAN Image: CPU_OPT N/A 1454 RPM	PCIE PCIE PCIDX16 : PCIe 3.0 x16 @ 1.0 x16	Boot Siquence
00R5_B1 N/A 00R5_B2 N/A 00R5_B2 N/A		🗱 Smart Fan 6		No Bootable Device Found
DDR5_A2 ADATA 16GB 4800M	MT/s	Quick Access		
A.I. XMP Booster Profile	Disabled V	Q - Flash	SPD Info	SPD Setup
DDR5 XMP Booster	Disabled	Re-Size BAR Support	Preferred Operating Mode 🛛 Auto 🖤	Multi-Theme Aorus V
Extreme Memory ProfileOCM.P.3 High Bandwidth Low Latency	Disabled ¥ Auto ¥ Auto ¥	Memory Boot Mode Auto	Fast Boot	Memory Channel Detection Message

Smart Fan 6

CADRUS			Smart Fan 6			09/16/2024 Monday	14:27
	Temperature	52.0 •c	Fan Speed				
CPU FAN					CPU_FAN Speed Contr		Silent
CPU_OPT					Fan Control Use Tempe	rature input	CPU 1
SYS_FAN1					Temperature interval		
SYS_FAN2					remperature interval		3
SYS_FAN3					CPU_FAN Control mod	ie –	Auto 1
SYS_FAN4					CPU_FAN Stop		Disabled
SYS_FAN5_PUMP					CPU_FAN Mode		Slope
SYS_FAN6_PUMP							
SYS_FAN7_PUMP							
SYS_FAN8_PUMP					🛕 CPU_FAN Fail Wa	arning	Disabled
DDR_FAN							
					CPU S	2.0 °C 🕴 System 1	39.0 °C
					Sustem 2 2	90 °C 🖡 PCH	40.0 *0
					a statute t	30 C 1 Fell	40.0 0
					PCIEX16 3	4.0 °C 🕴 VRM MOS	35.0 °C
					PCIEX4 3	4.0 °C 🕴 EC_TEMP	
					EC. TEMP2		
	Manual Control Set	tings					
		1 2	3 4 5	6 7			
1	PWM(b)	25 34 42	50 67	83 100			0.1

ファンクションキー<F6>を使用して、この画面にすばやく切り替えます。この画面では、各ファン ヘッダのファン速度関連の設定や、システム/CPUの温度監視を行うことができます。

☞ TUNE ALL

現在の設定をすべてのファンヘッダに適用します。

- Temperature 選択された領域の、現在の温度を表示します。
- ∽ Fan Speed
 現在のファン/ポンプ速度を表示します。
- ☞ Flow Rate

水冷システムの流量を表示します。Fan Speed 項目で<Enter>キーを押すと、この機能に切り 替わります。

☞ Fan Speed Control

ファン速度コントロール機能を有効にして、ファン速度を調整します。

- ▶Normal 温度に従って異なる速度でファンを動作させることができます。
- ▶ Silent ファンを低速度で作動します。
- ▶ Manual グラフ上の基準点をドラッグしてファンの回転数を調整することができます。または EZ Tuning 機能を使用することもできます。基準点の位置を調整した後、Apply を押すと、自動的にカーブの傾きが計算されます。
- ▶ Full Speed ファンを全速で作動します。

∽ Fan Control Use Temperature Input

ファン速度コントロール用の基準温度を選択できます。

Temperature Interval

ファン速度変動用の温度間隔を選択できます。

☞ FAN/PUMP Control mode

- ▶ Auto BIOSは、取り付けられたファンのタイプを自動的に検出し、最適の制御モードを設定します。
- ▶ Voltage 電圧モードは、3ピンのファン/水冷ポンプ用ファンです。
- ▶PWM PWMモードは、4ピンのファン/水冷ポンプ用ファンです。

☞ FAN/PUMP Stop

Fan/Pump Stop機能を有効または無効設定することができます。温度曲線を使用して温度制限を設定できます。ファンまたはポンプは、温度が限界値より低いと動作を停止します。

☞ FAN/PUMP Mode

ファンの動作モードを設定します。

▶ Slope 温度に応じてファンの回転数をリニアに調整します。

→ Stair 温度に応じてファンの回転数を段階的に調整します。

☞ FAN/PUMP Fail Warning

ファン/水冷ポンプ用ファンが接続されている状態で異常が発生した場合、システムは警告を 知らせます。警告があった場合、ファン/水冷ポンプ用ファンの接続状態を確認してください。

∽ Load Fan Profile

この機能を使用すると、BIOS設定を再設定する手間をかけずに、以前に保存したBIOS上の プロファイルをロードすることができます。または、Select File in HDD/FDD/USB を選択して、 ストレージデバイスからプロファイルをロードすることができます。

∽ Save Fan Profile

この機能により、現在の設定をプロファイルに保存できるようになります。BIOS 上のプロファイルを保存するか、Select File in HDD/FDD/USB を選択して、ストレージデバイスにプロファイルを保存することができます。

Favorites (F11)

Favorites (F11) Ca Tweaker	Settings	 System Info. 	C Boot	Save & Exit
Favorites (Press Triser' Key To +/- Items From Other Enhanced Multi-Core Performance Performance CPU (Cock Ratio Mak Ring Ratio Min Ring Ratio IGP Ratio Editem Memory ProfileXM.P.)	Tabs Or Helow)	42	CPU Frequency 5001.13MHz 4402.03 Temperature 51.0 °C	BCLK 100.00MHz P-core/E-core Volta 1,113 V 0979
Externe Mennory Vrote(CANV) CPU DURN Vcore CPU DURN Vcore System Mennory Mutpler Secure Boot Mode VT-d SRTA Controler(s)	* Auto * Auto * Auto * Auto * Standard * Disabled	1.278V 4800	Memory Freazency 4800.14MT/s Module MFG ID ADATA	Size 16384MB DRAM MFG ID Hynix
			Voltage PCH 022V 0.814 V *12V 12.078 V CPU Biscuits 85,136 CP	+5V 4.995 V VCCSA 1.059 V

よく使うオプションをお気に入りに設定し、<F11>キーを押すと、すべてのお気に入りオプションがあるページにすばやく切り替えることができます。お気に入りのオプションを追加または 削除するには、元のページに移動してオプションの<Insert>を押します。「お気に入り」に設定す ると、オプションに星印が付きます。

Tweaker

Transition (T 11)	(D) Turning	C rations		db mare	A Dave & Date
Favorites (F11)	Coa Tweaker	 Settings) O system into.	O Beet	Sive & Ext
GIGABYTE PerfDrive		Intel Default Settin	gs - Performance		
BCLK Output Source					
				Frequency	BULK
Performance CPU Clock Ratio		* Auto		5001.13MHZ 4602.0	2 100.00MHZ
Efficiency CPU Clock Ratio		Auto			
Max Ring Ratio		* Auto		54.0 °C	1.146 V 1.074
Min Ring Ratio		Auto 🕈			
IGP Ratio		* Auto			
Advanced CPU Settings				Memory	
				requercy	5/20
High Bandwidth		Auto		4800.331/175	DRAM MEG ID Hynix
Low Latency		Auto			
DOR5 XMP Booster		Disabled		ADATA	
Extreme Memory Profile(X.M.P.		Disabled		Voltage	
System Memory Multiplier		Auto	4800	o cu a anu	
Advanced Memory Settings				0.914 1	4.097.1/
				0.814 0	4.907 V
				+12V	VCCSA
Vcore Voltage Mode		Auto		12.060 V	1.059 V
CPU DLVRin Vcore		Auto	1.3237		
Dynamic Vcore(DVID)		Auto	+0.000V	85.136 CP	



オーバークロック設定による安定動作については、システム全体の設定によって異なります。オーバークロック設定を間違って設定して動作させると CPU、チップセット、またはメモリが損傷し、これらのコンポーネントの耐久年数が短くなる原因となります。このページは上級ユーザー向けであり、システムの不安定や予期せぬ結果を招く場合があるため、既定値設定を変更しないことをお勧めします。(誤った BIOS を設定しますと、システムは起動できません。そのような場合は、CMOS 値を消去して既定値にリセットしてみてください。)

☞ GIGABYTE PerfDrive

CPU 冷却度合いを調整する、複数のプリセット作業モードを提供します。

- ◇ CPU Upgrade CPUの周波数を設定できます。使用する CPU によって、結果は異なる場合があります。
- ☞ Enhanced Multi-Core Performance すべての CPU コアに最高の Turbo 比率を適用するかどうかを決定できるようにします。
- ∽ Performance CPU Clock Ratio

インストールされている Performance CPU のクロック比を変更することができます。 調整可能範囲は、取り付ける CPU によって異なります。

☞ Efficiency CPU Clock Ratio

インストールされている Efficiency CPU のクロック比を変更することができます。調整可能 範囲は、取り付ける CPU によって異なります。

- ∽ Min Ring Ratio

CPU Uncore 比の最小値を設定できます。調整可能範囲は、使用される CPU によって異なります。

☞ IGP Ratio

Graphics Ratio を設定できます。



BIOS の設定の中には、マザーボードのチップセットと使用する CPU / メモリがその機 能をサポートしている場合のみ利用できるものがあります。Intel® CPU の固有機能の詳 細については、Intel® の Web サイトにアクセスしてください。

Advanced CPU Settings

Favorites (F11) A Tweaker	Settings	System Info.	ර් Boot	🕞 Save & Exit
NGU Ratio	Auto			
SUC PVD Settings	Inveshold		CPU	
SUC PVD Katio Investiga	Auto			
CPU PVD Settings	Intendo		5001.13MHz 46020	100.00MHz 10
CPU PVD Hatio Infeshold	AUto			P-core/E-core Voltage 1.146 V 1.074
Ter Arburbler Offent	AUto		53.0 °C	
The Officet Time Mindeus	Auto		55.0 C	
Intellity Council Child Technology	Ended			Size 16384MB DRAM MEG ID HVDIX
CDI Theread Manifest	El lauleu Audo		Memory	
PU Inemai Montor	AUto			
Policisi Policion	AULO		4800.33MT/s	
Race to Har (RTH)	AUto			
nergy Emclent Turbo	AUto		ADATA	
Intel(k) Turbo Boost Technology	Auto			
PO Hex Rabb Override	UNIDED			
CPO Piez Rabo Sectings	HULO		Voltage	
Volcage Reduction Intelled TVB	ADIO		PCH 0.82V	
Prequency Clipping TVB	AUto		0.814 V	4.987 V
CEP (Current Excursion Protection)	AUto			
Fe OC MODE	Abto		12.060 V	1.056 V
Core Hato Extension Mode	AUto			
cegacy dame compatibility wode	Uisabilid		85 136 CP	

∽ NGU Ratio

NGU クロックの動作比率を設定できます。

- SOC PVD Settings SOC PVD 設定を調整できます。
- SOC PVD Ratio Threshold
 SOC PVD 比率しきい値を設定できます。
- CPU PVD Settings
 CPU PVD 設定を調整できます。
- CPU Over Temperature Protection
 TJ 最大オフセット値を微調整できます。

- ◇ Intel(R) Speed Shift Technology Intel[®] Speed Shift Technology の有効/無効を切り替えます。この機能を有効化すると、プロセッ サーの周波数がより速く上昇し、システムの反応が向上します。
- ◇ CPU Thermal Monitor CPU 過熱保護機能である Intel® Thermal Monitor 機能の有効 / 無効を切り替えます。有効になっているとき、CPUが過熱すると、CPU コア周波数と電圧が下がります。 Auto は、BIOS がこの設定を自動的に構成するようにします。
- CPU EIST Function
 Enhanced Intel[®] Speed Step 技術 (EIST)の有効/無効を切り替えます。CPU負荷によっては、Intel[®]
 EIST技術はCPU電圧とコア周波数をダイナミックかつ効率的に下げ、消費電力と熱発生量を 低下させます。Autoでは、BIOS がこの設定を自動的に設定します。

- Intel(R) Turbo Boost Technology Intel® CPU Turbo Boost テクノロジー機能の設定をします。Autoでは、BIOSがこの設定を自動的 に設定できます。 ○ CPU Flex Ratio Override CPU Flex Ratio を有効または無効にします。 CPU Flex Ratio Settings CPU Flex Ratio を設定することができます。調整可能な範囲は、CPU により異なる場合があ ります。 ∽ Frequency Clipping TVB Thermal Velocity Boost によって開始される自動CPU周波数低減を有効または無効にできます。 ☞ Enhanced TVB 強化された Thermal Velocity Boost (TVB) 機能を有効または無効にします。Auto は、BIOS がこ の設定を自動的に構成するようにします。 ∽ Voltage Reduction Initiated TVB Thermal Velocity Boost によって開始される自動CPU電圧低下を有効または無効にできます。 Auto では、BIOS がこの設定を自動的に設定します。 CEP (Current Excursion Protection) 電流過負荷保護機能を設定できます。IA CEP、GT CEP、SA CEP を手動で設定できます。 ☞ FII OC Mode FIIモードを選択します。 ∽ Core Ratio Extension Mode コア比85を超える拡張モードを有効または無効にできます。 ➡ Enabled OCMB 0x1 コマンドで指定される最大オーバークロック比制限は 120 です。 OCMB0x1コマンドで指定される最大オーバークロック比制限は85です。 Disabled ∽ Legacy Game Compatibility Mode レガシーゲーム互換モードを有効にし、古いゲームの機能を向上させることができます。 ∽ VR Fast V mode VR 高速 V モードを設定できます。IA ICC 制限、GT ICC 制限、および SA ICC 制限を手動で設 定できます。 ∽ Under Voltage Protection この機能を有効または無効にします。 ☞ VCCIA Boot Voltage VCCIA ブート電圧を設定できます。 ☞ VCCSA Boot Voltage VCCSA ブート電圧を設定できます。 ∽ CPU BGREF Mode Allows you to set CPU Bandgap Reference Mode. Unlock High Voltage Limit 高電圧制限値のロックを解除できます。 Setting High Voltage Limit 高電圧制限値を設定できます。 ∽ Intel(R) Innovation Platform Framework Intel® Innovation Platform Framework (Intel® IPF) を有効または無効にします。
- CPU D2D Ratio
 CPU D2D 比率を設定できます。

- Core Minimum Ratio
 コア最小比率を設定できます。

▼ AVX Settings

AVX に関する設定を行います。Auto は、CPU の仕様に合わせて設定します。

ି AVX

AVX をサポートする CPU で AVX 命令セットを無効にすることができます。AVX Settings が User Defined に設定されている場合のみ、この項目を設定できます。

∽ AVX Offset

プロセッサが AVX ワークロードを実行すると、CPU クロック比は所望の AVX オフセット値に よって減少します。例えば、この値が3に設定されている場合、AVX命令を実行すると、CPUク ロック比は3だけ減少します。

- AVX Voltage Guardband Scale Factor 標準のAVX電圧を下げることができます。
- ▼ Active Turbo Ratios

∽ Turbo Ratio

さまざまな数のアクティブなコアに対して、CPU Turbo比を設定できます。Auto では、CPU仕様に従って CPU Turbo 比を設定します。Active Turbo Ratios が Manual に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

▼ CPU Cores Enabling Mode

CPU コアの有効化方法を選択できます。

∽ No. of CPU P-Cores Enabled

有効にする CPU の P コアの数を選択します (CPU によって異なる場合があります)。 CPU Cores Enabling Mode が Random Mode に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。 Auto では、BIOS がこの設定を自動的に設定します。

有効にする CPU の E コアの数を選択します (CPU によって異なる場合があります)。 CPU Cores Enabling Mode が Random Mode に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。 Auto では、BIOS がこの設定を自動的に設定します。

∽ Active P-Core/E-Core

どのCPUコアを有効にするかを選択します。CPUコアの数はCPUによって異なる場合があります。CPU Cores Enabling Mode が Selectable に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。Autoでは、BIOS がこの設定を自動的に設定します。

C-States Control

∽ CPU Enhanced Halt (C1E)

システム一時停止状態時の省電力機能で、Intel® CPU Enhanced Halt (C1E)機能の有効/無効を切り替えます。有効になっているとき、CPU コア周波数と電圧は下げられ、システムの停止状態の間、消費電力を抑えます。Autoでは、BIOS がこの設定を自動的に設定します。C-States Control が Enabled に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

☞ C6/C7 State Support

システムが停止状態の際、CPUのC6/C7モード動作の有効/無効の設定ができます。有効になっているとき、CPUコア周波数と電圧は下げられ、システムの停止状態の間、消費電力を抑えます。C6/C7状態は、C3より省電力状態がはるかに強化されています。Autoでは、BIOSがこの設定を自動的に設定します。C-States ControlがEnabledに設定されている場合のみ、 この項目を構成できます。

システムが停止状態の際、CPUのC8モード動作の有効/無効の設定ができます。有効になっているとき、CPUコア周波数と電圧は下げられ、システムの停止状態の間、消費電力を抑えます。C8状態は、C6/C7より省電力状態がはるかに強化されています。Autoでは、BIOSがこの設定を自動的に設定します。C-States Control が Enabled に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

∽ C10 State Support

システムが停止状態の際、CPUのC10モード動作の有効/無効の設定ができます。有効になっているとき、CPUコア周波数と電圧は下げられ、システムの停止状態の間、消費電力を抑えます。C10状態は、C8より省電力状態がはるかに強化されています。Autoでは、BIOSがこの設定を自動的に設定します。C-States Control が Enabled に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

☞ Package C State limit

プロセッサー C-state (省電力状態)の上限を指定できます。Auto では、BIOS がこの設定を自動的に設定します。 C-States Control が Enabled に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

▼ Turbo Power Limits

CPU Turboモードの電力制限を設定できます。CPU の消費電力がこれらの指定された電力 制限を超えると、CPU は電力を削減するためにコア周波数を自動的に低下します。Auto は、CPU の仕様に合わせて設定します。

∽ Power Limit TDP (Watts) / Power Limit Time

CPU/プラットフォーム/メモリの各 Turbo モードに対する電力制限、および、指定した電力制限で動作する時間を設定することができます。Auto では、CPU 仕様に従って電力制限を設定します。この設定項目は、Turbo Power LimitsがEnabledに設定されている場合にのみ設定が可能です。

∽ Core Current Limit (Amps)

CPU Turbo モードの電流制限を設定できます。CPU の電流がこれらの指定された電流制限 を超えると、CPU は電流を削減するためにコア周波数を自動的に低下します。Auto は、CPU の仕様に合わせて設定します。この設定項目は、Turbo Power LimitsがEnabledに設定されて いる場合にのみ設定が可能です。

▼ Turbo Per Core Limit Control

個別に各 CPU コアの制限を制御することができます。

Granular Ratio Control

細分比率を設定できます。

∽ P-Core/E-Core Granular Ratio

P-Core/E-Core 細分比率を設定できます。この項目は、細分比率制御(Granular Ratio Control)が 手動(Manual)に設定されている場合にのみ設定できます。Auto では、BIOS がこの設定を自 動的に設定します。

☞ High Bandwidth

高帯域幅メモリモードを有効または無効にする。Autoでは、BIOSがこの設定を自動的に設定します。

∽ Low Latency

低遅延メモリモードを有効または無効にする。Autoでは、BIOS がこの設定を自動的に設定します。

→ DDR5 XMP Booster

メモリ IC メーカーごとに設定された、メモリ性能を向上させるためのプロファイルを選択 することができます。

∽ A.I. XMP Booster Profile

オペレーティング・システム (OS) 内で AORUS AI SNATCH ソフトウェアを使用して、メモリ・ パフォーマンスの強化を設定できます。

∽ Extreme Memory Profile (X.M.P.)

有効にすると、BIOSがXMPメモリモジュールのSPDデータを読み取り、メモリのパフォーマンスを強化することが可能です。

- ▶ Disabled この機能を無効にします。
- ▶ Profile1 プロファイル1設定を使用します。
- ▶ Profile2 プロファイル 2 設定を使用します。(この機能に対応したメモリーモジ ュールを装着した場合のみ有効です。)

∽ System Memory Multiplier

システム メモリマルチプライヤの設定が可能になります。Auto は、メモリの SPD データに 従ってメモリマルチプライヤを設定します。

Advanced Memory Settings

ADRUS	and al		ADVAN	CED MODE 09/16/ Monda	²⁰²⁴ 14:28
Favorites (F11)	Settings	 System info. 	_ ს	Boot	Save & Exit
Cear Mode Memory Boot Mode Realtime Memory Timing	Auto Auto Auto			CPU Frequency	BCLK
Fine Granularity Refresh Memory Enhancement Settings Memory Channel Detection Message	Auto Auto Enabled			Temperature 54.0 °C	P-core/E-core Voltage 1.146 V 1.074
 SPD Info SPD Stup Memory Channels Trning Memory Training Settings 	Huu			Memory Frequency 4800.33MT/s Module MFG ID ADATA	Size 16384MB DRAM MFG ID Hynix
				Voltage PCH 0.82V 0.814 V *12V 12.060 V	+5V 4.987 V VCCSA 1.056 V
Gear Mode				85.136 CP	

∽ Gear Mode

最大OC周波数のポテンシャルを向上させることができます。

∽ Memory Boot Mode

メモリチェックと動作方法の設定を行います。

► Auto	BIOSでこの設定を自動的に構成します。
➡ Normal	BIOSは自動的にメモリのトレーニングを行います。システムが不安定に
	なったり起動できなくなった場合、CMOSクリアし、BIOS設定内容をリ
	セットしますのでご注意ください。(CMOS値をクリアする方法について
	は、ユーザーズマニュアル第のバッテリー / CMOS クリアジャンパ/ボタ
	ンの紹介を参照してください。)

▶ Enable Fast Boot 高速メモリブート可能なメモリ検出を行います。

▶ Disable Fast Boot ブート時にメモリ1本1本の順にチェックを行います。

- Fine Granularity Refresh
 メモリの Fine Granularity Refresh (FGR) モードを有効または無効にします。
- ☆ Memory Enhancement Settings (メモリの拡張設定) システムが異なる性能レベルで動作することを可能にします。
- ☆ Memory Channel Detection Message メモリが最適なメモリチャネルに取り付けられていない場合に、アラートメッセージを表示 するかどうかを設定できます。
- SPD Info 取り付けられているメモリの情報を表示します。
- SPD Setup

搭載されているメモリのパラメータを設定したり、設定をプロファイルとして保存したりすることができます。

- Memory Channels Timings
- Channels Standard Timing Control, Channels Advanced Timing Control, Channels Misc Timing Control

これらのセクションでは、メモリのタイミング設定を変更できます。注:メモリのタイミングを変更後、システムが不安定になったり起動できなくなることがあります。その場合、最適化された初期設定を読み込むかまたは CMOS 値を消去することでリセットしてみてください。

 Memory Training Settings メモリートレーニングの設定を調整することができます。

CPU/PCH Voltage Control/DRAM Voltage Control CPU、チップセット、メモリの電圧を調整するための項目です。表示される項目や値は、マザ ーボードのチップセットや使用する CPU によって異なる場合があります。

Advanced Voltage Settings

Favorites (F11) Ga Tweaker	Settings	③ System info.		ර Boot 🕞	Save & Exit
CPU Core PLL Overvoltage (+mV) RING PLL Dvervoltage (+mV) SOS SA PLL Overvoltage (+mV) ATOM PLL Overvoltage (+mV) CPU LSA PLL Overvoltage (+mV) CPU LSA PLL DVervoltage (+mV)	Auto Auto Auto Auto Auto Auto Auto		-	CPU Frequency 5001.13MHz 4602.07 Temperature 54.0 °C	BCLK 100.00MHz P-core/E-core Volta 1.148 V 1.074
RING PLL IRerFune Overvoltage (=mv) ATOM PLL IRerFune Overvoltage (=mv) CPU/VRM Settings	Auto Auto			Memory Frequency 4800.33MT/s Module M/G ID ADATA	Size 16384MB DRAM MEGID Hynix
				Voltage PCH 0.82V 0.814 V +12V 12.060 V CPU Biscuits 85.136 CP	+5V 4.987 V VCCSA 1.056 V

このサブメニューでは、負荷線校正 (Load-Line Calibration) レベル、過電圧保護レベル、および過電流保護レベルを設定できます。

DDR5 Voltage Control

 Favorites (F11) 	6	Tweaker	Settings	0	System info	·	() Boot	 Save & Exit
Program Mode			Auto				5001 13MHz can ex	BCLK
VDD Mode							500 1. TSIVIEIZ 402.07	100.00IVIP12 10
VDD A0 Voltage				1.100V			Temperature	P-core/E-core Voltage
							47.0 °C	1.146 V 1.074
							Memory	
VDDQ Mode							Francisco	
VDDQ A0 Voltage							(000 22MT/=	1620/140
							4800.33101175	DRAM MFG ID Hynix
							Module MFG ID	
							ADATA	
VPP Mode								
VPP A0 Voltage			Auto	1.800V			Voltage	
							004.0974	
							0814 1/	4.987.1/
							0.014 0	4.507 0
							+12V	VCCSA
							12.060 V	1.056 V
							85.136 CP	

これらの項目では、DDR5 メモリの電圧を調整することができます。

Settings

CADRUS -			EASY MODE		ICED MODE 09/16/ Monda	²⁰²⁴ 14:27
Favorites (F11)	63 Twesker	Settings	System Info.	ڻ ا	Boot	Save & Exit
Platform Power IO Ports Miscellaneous Option Search (Hot Key: Alt-F) PC Health Status					CPU Frequency 5001.13MHz 4602.03 Temperature 50.0 °C	BCLK 100.00MHz 10 P-core/E-core Voltag 1.113 V 0.979
					Memory Frequency 4800.14MT/s Module MFG ID ADATA	Size 16384MB DRAM MFG ID Hynix
					Voltage PCH 0.82V 0.814 V +12V 12.078 V CPU Biscuits 85.136 CP	+5V 4.995 V VCCSA 1.056 V
				🏶 Smart Fan	6 (F6) 📄 Q-Flash (F8) 🛛 Ø	Help (F1) Q

Platform Power

Full control for a Management Coulded \$1 Sime Mode Disided \$1 Sime Mode March Off \$2 Sime Mode Disaded \$2 Point Disaded \$2 Point Disaded \$2 Point Disaded Writer of Arr 0 Writer of Arr 0	CPU Frequency 5001.13MHz &	BCLK 602.03 100.00MHZ 10
venin opinitati C Walka (glacod) C Natok ADM Dadd Paver Lading Adv Adv RGDPredir Standyd Ended RGDPredir Standyd Ended	Memory Frequency 4800,14MT/s Module MIG ID ADATA	P-core/E-core Voltag 1.113 V 0.979 Size 16384MB DRAM MFG ID Hynix
	Voltage PCH0820 0814 V 120 12028 V CPU Bends 85.136 CP	+5¥ 4.995 V VCSA 1.059 V

∽ Platform Power Management

有効またはアクティブ状態の電源管理機能 (ASPM) を無効にします。

☞ PEG ASPM

CPUのPEGバスに接続されたデバイスのためのASPMモードを設定することができます。この設定項目は、Platform Power ManagementがEnabledに設定されている場合にのみ設定が可能です。

→ PCH ASPM

チップセットのPCI Express/バスに接続されたデバイスのためのASPMモードを設定することができます。この設定項目は、Platform Power ManagementがEnabledに設定されている場合にのみ設定が可能です。

🗢 🛛 DMI ASPM

CPU側およびDMIリンクのチップセット側の両方にASPMモードを設定することができます。 この設定項目は、Platform Power ManagementがEnabledに設定されている場合にのみ設定 が可能です。

∽ S3 Save Mode

システムS3状態場合、システムが省電力モードの設定ができます。

∽ Soft-Off by PWR-BTTN

電源ボタンで MS-DOS モードのコンピュータの電源をオフにする設定をします。 ⇒ Instant-Off 電源ボタンを押すと、システムの電源は即時にオフになります。 ⇒ Delay 4 Sec. パワーボタンを4秒間押し続けると、システムはオフになります。パワーボ タンを押して4秒以内に放すと、システムはサスペンドモードに入ります。

☞ ErP

S5 (シャットダウン) 状態でシステムの消費電力を最小に設定します。 注:この項目が Enabled に設定されているとき、Resume by Alarm 機能は使用できなくなります。

☞ Resume by Alarm

任意の時間に、システムの電源をオンに設定します。 有効になっている場合、以下のように日時を設定してください:

Wake up day: ある月の毎日または特定の日の特定の時間にシステムをオンにします。 → Wake up hour/minute/second: 自動的にシステムの電源がオンになる時間を設定します。 注:この機能を使う際は、オペレーティングシステムからの不適切なシャットダウンまたは AC 電源の取り外しはしないで下さい。そのような行為をした場合、設定が有効にならない ことがあります。

∽ Native ASPM

BIOS 制御の ASPM か OS 制御の ASPM かを選択できます。 Enabled は OS 制御の ASPM を 選択し、Disabled は BIOS 制御の ASPM を選択します。 Auto では、BIOS がこの設定を自動的 に設定します。

∽ Power Loading

ダミーローディング機能の有効/無効を切り替えます。パワーサプライユニットのローディン グが低いためにシステムのシャットダウンや起動に失敗する場合は、有効に設定してください。 Auto では、BIOS がこの設定を自動的に設定します。

☞ RC6(Render Standby)

オンボードグラフィックスをスタンバイモードに入れて消費電力を削減するかどうかを決定 できます。

→ AC BACK

AC 電源損失から電源復帰した後のシステム状態を決定します。

▶ Memory AC 電源が戻ると、システムは既知の最後の稼働状態に戻ります。

- Always On AC 電源が戻るとシステムの電源はオンになります。
- ▶ Always Off AC 電源が戻ってもシステムの電源はオフのままです。

IO Ports

 Favorites (F11) Tweaker 	Settings	③ System Info.	() Boot	Save & Exit
Internal Display Degraf Internal Caraphos Politikation Support Ortikation JAN Controller Ortikation JAN Controller Defaund JAN Controller Andre Controller Sec Sec IAN Sec Sec Sec Sec Sec Sec Sec IAN Sec Sec Sec Sec Sec Sec Sec Sec IAN Sec Sec Sec Sec Sec Sec Sec Sec Sec Sec IAN Sec Of Control Sec	PChe 1 Skot Auto Auto Enubled Enubled Enubled Disubled Enubled Enubled		CPU Frequency 5001.13MHz 4602.03 Temperature 51.0 °C Memory Frequency	BCLK 100.00MHz to P-core/E-core Voltag 1.113 V 0979
Galatyte Usati communication Galatyte Usation USB Configuration Network Stack Configuration NVM/c Configuration NVM/c Configuration			4800.14MT/s Module MFG ID ADATA	16384MB DRAM MEG ID Hynix
s 9476 Configuration i VMD setup menu i Thunderbolt(TMI) Configuration			Volitage PCH 082V 0.814 V +12V 12.078 V CPU Becuits 85.136 CP	4.995 V VCCSA 1.056 V

☞ Initial Display Output

取り付けた PCI Express グラフィックスカード、またはオンボードグラフィックスから、最初 に呼び出すモニタディスプレイを指定します。

- ▶IGFX 最初のディスプレイとしてオンボードグラフィックスを設定します。
- ▶ PCle 1 Slot 最初のディスプレイとして、PCIEX16 スロットにあるグラフィックカードを設定します。
- ▶ PCle 2 Slot 最初のディスプレイとして、PCIEX8 スロットにあるグラフィックカードを設定します。
- ▶ PCle 3 Slot 最初のディスプレイとして、PCIEX4 スロットにあるグラフィックカードを設定します。

☞ Internal Graphics

オンボードグラフィックス機能の有効/無効を切り替えます。

→ DVMT Pre-Allocated

オンボードグラフィックスのメモリサイズを設定できます。

∽ Aperture Size

グラフィックスカードに割り当てることができるシステムメモリの最大量を設定できます。 オプション:256MB、512MB、1024MB、および 1024MB。

∽ PCIE Bifurcation Support

PCIEX16 スロットの帯域幅をどのように分割するかを決定できます。

∽ OnBoard LAN Controller

オンボードLAN機能の有効/無効を切り替えます。オンボードLANを使用する代わりに、サードパーティ製増設用ネットワークカードをインストールする場合、この項目をDisabledに設定します。

∽ OnBoard LAN Controller#2

オンボードLAN機能の有効/無効を切り替えます。オンボードLANを使用する代わりに、サードパーティ製増設用ネットワークカードをインストールする場合、この項目をDisabledに設定します。

∽ Audio Controller

オンボードオーディオ機能の有効/無効を切り替えます。オンボードオーディオを使用する代わりに、サードパーティ製拡張オーディオカードをインストールする場合、この項目をDisabled に設定します。

Above 4G MMIO BIOS assignment

64ビット対応デバイスに対して、4GB以上のメモリマッピングされたIOBIOS割り当てを有効または無効にします。

- **Re-Size BAR Support** Resizable BAR のサポートを有効または無効にします。
- ジ IOAPIC 24-119 Entries
 この機能の有効/無効を切り替えます。
- PCle Link Speed Configuration

☞ CPU PCIe Link Speed

CPU 制御の PCI Express スロットの動作モードを設定します。実際の操作モードは、各スロットのハードウェア仕様によって異なります。Auto では、BIOS がこの設定を自動的に設定します。

☞ CPU M2A Link Speed

CPU 制御の M2A_CPU ソケットの動作モードを設定します。実際の操作モードは、各スロットのハードウェア仕様によって異なります。Auto では、BIOS がこの設定を自動的に設定します。

☞ CPU M2B Link Speed

CPU 制御の M2B_CPU ソケットの動作モードを設定します。実際の操作モードは、各スロットのハードウェア仕様によって異なります。Auto では、BIOS がこの設定を自動的に設定します。

☞ PCH PCIe Link Speed

チップセット制御のPCI Express スロットの動作モードを設定します。実際の操作モードは、 各スロットのハードウェア仕様によって異なります。Autoでは、BIOS がこの設定を自動的に 設定します。

☞ PCH PCIe X4 Link Speed

チップセット制御の PCI Express x4スロットの動作モードを設定します。実際の操作モードは、各スロットのハードウェア仕様によって異なります。 Auto では、BIOS がこの設定を自動的に設定します。

- Gigabyte Utilities Downloader Configuration
- ∽ Gigabyte Utilities Downloader Configuration

OSに入ってから自動的にGIGABYTE CONTROL Centerをダウンロードして、インストールするか どうかを判断することができます。インストールの前に、システムがインターネットに接続さ れていることを確認してください。

- USB Configuration
- ☆ Legacy USB Support USB キーボード/マウスを MS-DOS で使用できるようにします。

※ XHCI Hand-off XHCIハンドオフに対応していないOSでも

XHCIハンドオフに対応していないOSでも、XHCIハンドオフ機能を有効/無効に設定できます。

- USB Mass Storage Driver Support
 USBストレージデバイスの有効/無効を切り替えます。
- ∽ Port 60/64 Emulation
 USBストレージデバイスの有効/無効を切り替えます。

☞ Mass Storage Devices

接続された USB 大容量デバイスのリストを表示します。この項目は、USBストレージデバイ スが接続された場合のみ表示されます。

- Network Stack Configuration
- ∽ Network Stack

Windows Deployment ServicesサーバーのOSのインストールなど、GPT形式のOSをインストールするためのネットワーク起動の有効/無効を切り替えます。

☞ IPv4 PXE Support

IPv4PXEサポートの有効/無効を切り替えます。Network Stack が有効になっている場合のみ、 この項目を構成できます。

☞ IPv4 HTTP Support

IPv4のHTTPブートサポートを有効または無効に設定します。Network Stack が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

☞ IPv6 PXE Support

IPv6PXEサポートの有効/無効を切り替えます。Network Stack が有効になっている場合のみ、 この項目を構成できます。

☞ IPv6 HTTP Support

IPv6のHTTPブートサポートを有効または無効に設定します。Network Stack が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

→ PXE boot wait time

PXEブートをキャンセルするための、<Esc>キー入力待ち時間を設定できます。Network Stack が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

- ☞ Media detect count 外部メディアの存在を確認する回数を設定できます。Network Stack が有効になっている場 合のみ、この項目を構成できます。
- NVMe Configuration 取り付けられている場合、M.2 NVME PCle SSD に関する情報を表示します。
- SATA Configuration
- ☆ SATA Controller(s) 統合された SATA コントローラを有効または無効に切り替えます。
- → Aggressive LPM Support Chipset SATA コントローラーに対する省電力機能である ALPM (アグレッシブリンク電源管 理) を有効または無効にします。
- Port
 各SATAポートを有効または無効にします。
- ☞ Hot plug 各SATAポートのホットプラグ機能を有効または無効にします。
- Configured as eSATA
 追加SATAデバイスの有効/無効を切り替えます。

VMD setup menu

VMD コントローラの設定を行います。RAIDを構築するには、Enable VMD controller をEnabled に、Enable VMD Global Mapping を Disabled に設定します。また、使用するSATA/M.2 コネクタ に応じて、Map this Root Port under VMD の項目を Enabled に設定してください。RAID アレイ の設定については、GIGABYTE ウェブサイトの「RAID アレイ設定方法」のページをご参照く ださい。

Thunderbolt(TM) Configuration

このサブメニューは Intel® Thunderbolt[™] 関連の設定オプションを提供します。このサブメニュー は Intel® Thunderbolt[™] コントローラを搭載したマザーボード、または GIGABYTE Thunderbolt[™]ア ドインカードを装着したマザーボードにのみ表示されます。

- PCIE Tunneling over USB4
 PCIE Tunneling over USB4 を有効または無効にします。
- ⑦ Integrated Thunderbolt(TM) Enable 統合 Thunderbolt™ コントローラーを有効または無効にします。

■ Integrated Thunderbolt(TM) Configuration 統合 Thunderbolt™ コントローラーを構成するための追加設定を提供します。

☞ USB4 Host Router Class Code

異なるドライバーをロードするために、ホストルーターに適用するクラスコードのオプションを提供します。

- ▶ Auto OSPM USB サポートによって決定されたドライバーをロードします。
- ▶ Intel USB4 Ver2 Intel® USB4 Ver2 ドライバーをロードします。
- ▶ PCle 3 Slot OS 内蔵ドライバーをロードします。

Miscellaneous

Favorites (F11)	Sa Twesker	Settings	 System Info. 	🖒 Boot 📑	Save & Exit
LEDs in System Power On State RST (MULTIKEY) GENS Redriver SIPO Mode GENS DC Gain Onboard DB Port LED Intel Flatform Trust Technology (PTT)		On Set this button to HW Enabled O 1 On Enabled	Reset	CPU Freamy 5001.13MHz 4402.07 Temperature 53.0 °C	BCLK 100.00MHz P-core/E-core Volta 1.146 V 1.074
3DMark01Erhancement VT-d CPU VCree Sense Trusted Computing A countic Noise Settings		Disabled * Disabled Direct Sense		Memory Frequency 4800.33MT/s Module MFC ID ADATA	Size 16384MB DRAM MFG ID Hynix
				Voltage PCH 022V 0.814 V *12V 12.060 V CPU Bisruts 85.136 CP	+5V 4.987 V VCCSA 1.056 V

∽ LEDs in System Power On State

システムの電源が入っているときに、マザーボードのLED照明を有効または無効にすること ができます。

- システムがオンのときに、選択した照明モードを無効にします。 ► Off
- オンシステムがオンのときに、選択した照明モードを有効にします。 ► On

∽ RST (MULTIKEY) (RST SW ボタンの機能)

Set this button to HW Reset このボタンを使用して、システムをリセットします。 Set this button to Switch LED On/Off このボタンを使用して、マザーボードのLEDをオン/オ

フします。

- このボタンを使ってBIOSセットアップに入ります。
- Set this button to Enter BIOS Setup ➡ Set this button to Boot on Safe Mode

このボタンを使用して、システムをセーフモードで起 動します。

GEN5 Redriver SIPO Mode の有効/無効を設定します。

- GEN5 Equization GEN5のイコライザー値を調整します。
- ☞ GEN5 DC Gain GEN5 DC Gain の値を調整します。
- ∽ Onboard DB Port I FD システムの電源が入っているときに、マザーボードのデバッグLEDのLED照明を有効または無 効にすることができます。
- Intel Platform Trust Technology (PTT) Intel® PTT テクノロジーの有効/無効を切り替えます。
- → 3DMark01 Enhancement 一部の従来のベンチマーク性能を向上させることができます。
- h-TV 🗢

Directed I/O 用 Intel® Virtualization テクノロジーの有効/無効を切り替えます。

∽ CPU VCore Sense

CPU Vcore を検出するさまざまな方法を提供します。

- ▶ MB Sense CPU Vcore 電圧の検出値はマザーボードから取得します。
- Direct Sense CPU Vcore 電圧の検出値は CPU ソケットから取得します。

- Trusted Computing Trusted Platform Module (TPM) を有効または無効にします。
- Acoustic Noise Settings IA、GT、SA ドメインのアコースティックノイズ設定を行うことができます。

Option Search (Hot Key: Alt-F)

この画面では、キーワード(英語のみ)を入力し、探している BIOS オプションを検索することができます。<Alt>と<F>を押して Option Search 画面に入り、検索フィールドにキーワードを入力し、<Enter>を押すか、または[Search]をクリックします。

PC Health Status

Favorites (F11)	63 Twesker	Settings	 System info. 	C) Boot	Save & Exit
Reset Case Open Status Case Open +3.3V +9V +12V CPU DLVRin Vcore P-core/E-core Voltage CPU VNNACN		0isabled YES 3344 V 4.907 V 12.060 V 1.287V 1.113 VJ0.979 0.786 V		CPU Frequency 5001.13MHz 4602.03 Terroperature 46.0 °C	BCLK 100.00MHz 10 P-core/E-core Voltag 1.113 V 0.979
CPU VCCIO CPU VCCSA CPU VAXG VDD2 CPU PCH 18V PCH 082V		1.056 V 1.056 V 1.008 V 1.122 V 1.826 V 0.814 V		Memory Frequency 4800.14MT/s Module MFG ID ADATA	SZE 16384MB DRAM MFG ID Hynix
				Voltage PCH Q27V 0.814 V +12V 12.060 V CPU Biscuits 85.136 CP	4.987 V 4.987 V VCCSA 1.056 V

∽ Reset Case Open Status

▶ Disabled 過去のケース開閉状態の記録を保持または消去します。

▶Enabled 過去のケース開閉状態の記録をクリアします。次回起動時、Case Open フ ィールドに「No」と表示されます。

Case Open

マザーボードのCIヘッダに接続されたPCケース開閉の検出状態を表示します。システムケースのカバーが外れている場合、このフィールドが「Yes」になります。そうでない場合は「No」になります。ケースの開閉状態の記録を消去したい場合は、Reset Case Open Status を Enabled にして、設定を CMOS に保存してからシステムを再起動します。

現在のシステム電圧を表示します。表示される項目や値は、マザーボードのチップセットや使用する CPU によって異なる場合があります。

System Info.

2890 AORUS XTREME A T0m 09/12/2024 8AARL027 Intel(R) Core(TM) Ultra 5	u TOP 245K		CPU Frequency 5001.13MHz 4602.03 Temperature 50.0 °C	BCLK 100.00MHz 10 P-core/E-core Voltage 1.113 V 0.979
00000662 100.00MHz[100.00 5001.13MHz]4602.03 16384MB 0000000000000 74563CB62795			Memory Frequency 4800.14MT/s Module MFG ID ADATA	Size 16384MB DRAM MFG ID Hynix
Administrator English [09 / 16 / 2024 [14 : 28 : 04]] Mon	-	Voltage PCH 0.82V 0.814 V -12V 12.060 V CPU Biscuits	+5V 4:987 V VCCSA 1.059 V
	00/12/2020. මැති(22) ශාලේල Caer(140) Unit S 1000004/e(10000 50011 366/46/02/201 100000000 7466/566/279 බල්පාණාරාග ප්රේක්ෂාව ලංකා	00112702014 004140207 HoneIDT (SentTMI) (Sin 5 3 XXXX HONEIDT (SentTMI) (Sin 5 3 XXXX HONEIDT (SentTMI) 1000XMH/100000 900XMH/900000 7004XMH/900000 7004XMH/90000 7004XH/90000 7004XH/90000 7004XH/90000 7004XH/90000 7004XH/9000000 7004XH/9000000000000000000000000000000000000	00/12/2004 00/12/2004 10/2007 10/2004/19/2004/19/2007 10/2004/19/2004/19/2004/19/2004/19/2004/19/2004/19/2004/10/2004	oprinzosa Finance BMARG27 S00113MHz 2 decisa transfil (certifii) (link 5 300K 500 °C transfil (certifiii) (link 5 300K 500 °C transfil (certifiii) (link 5 300K Marcoly doct status 100 Marcoly do

このセクションでは、マザーボード モデルおよび BIOS バージョンの情報を表示します。また、BIOS が使用する既定の言語を選択して手動でシステム時間を設定することもできます。

∽ Access Level

使用するパスワード保護のタイプによって現在のアクセス レベルを表示します。(パスワードが設定されていない場合、既定では Administrator (管理者) として表示されます。)管理者 レベルでは、すべての BIOS 設定を変更することが可能です。 ユーザー レベルでは、すべて ではなく特定の BIOS 設定のみが変更できます。

∽ System Language

BIOS が使用する既定の言語を選択します。

∽ System Date

ジステムの日付を設定します。<Enter> で Month (月)、Date (日)、および Year (年) フィールドを 切り替え、<Page Up> キーと <Page Down> キーで設定します。

∽ System Time

ジステムの時計を設定します。時間の形式は時、分、および秒です。例えば、1p.m. は 13:00:00 です。<Enter> で Hour (時間)、Minute (分)、および Second (秒) フィールドを切り替え、<Page Up> キーと <Page Down> キーで設定します。

Plug in Devices Info

PCI ExpressおよびM.2デバイスが取り付けられている場合は、それらのデバイスに関する情報を表示します。

Q-Flash

Q-Flash ユーティリティにアクセスしてBIOS を更新したり、現在のBIOS設定をバックアップしたりできます。

Boot

Favorites (F11)	a Tweaker 🛞 Settings	System Info. U Boot System Content System Site & Exit	
Boot Configuration Bootup Numbook State CPG Lock Security Option Full Screen LOGO Show Boot Option	On DisaBrid System Enabled	CPU Frequency BCLK 5001.13MHz ME0200 D000 Temporative Pcoret or 47.0 °C 1.113 V	IHZ 1 e Voltaș 0.982
East Uption Priorities Fast Boot Mouse Speed	Disabled 1 X	Memory Freesecy Sae 4800.14MT/s 16384M 4800.10 DIALA M/G Model M/G D DIALA M/G ADATA Hynix	B
Administrator Password User Password		Voltage PCH 0.82V +5V	
Preferred Operating Mode	Auto	0.814 V 4.397 V +12V VCGA 12.060 V 1.056 V CPU lineuis 85.136 CP	
ct the keyboard NumLock state		11 😽 Smart Fan 6 (F6) 💿 Q-Flash (F8) 🛞 Help (F1)	

☞ Bootup NumLock State

POST後にキーボードの数字キーパッドにある NumLock 機能の有効/無効を切り替えます。

∽ CFG Lock

MSR 0xE2機能の有効/無効を切り替えます。

Security Option

パスワードがシステム起動ごとに必要か、または BIOS セットアップに入る時のみに必要か を指定します。このアイテムを設定した後、BIOS メインメニューの Administrator Password/ User Password アイテムの下でパスワードを設定します。

Setup パスワードは BIOS セットアッププログラムに入る際にのみ要求されます。
 System パスワードは、システムを起動したり BIOS セットアッププログラムに入る際に要求されます。

☞ Full Screen LOGO Show

システム起動時に、GIGABYTEロゴの表示設定をします。Disabled にすると、システム起動時 に GIGABYTE ロゴをスキップします。

☞ Boot Option Priorities

使用可能なデバイスから全体の起動順序を指定します。起動デバイス リストでは、GPT 形式をサポートするリムーバブル ストレージ デバイスの前に「UEFI:」が付きます。GPT パーティションをサポートするオペレーティングシステムから起動するには、前に「UEFI:」が付いたデバイスを選択します。

また、Windows 11(64 ビット)など GPT パーティションをサポートするオペレーティングシステムをインストールする場合は、Windows 11(64 ビット) インストールDisksを挿入し前に「UEFI:」が付いた光学ドライブを選択します。

☞ Fast Boot

Fast Boot を有効または無効にして OS の起動処理を短縮します。

☞ SATA Support

▶ Last Boot SATA Devices Only
 以前の起動ドライブを除いて、すべての SATA デバイスは、OS 起動プロセスが完了するまで無効になります。
 ▶ All SATA Devices オペレーティングシステムおよび POST 中は、全 SATA デバイスは機能します。

Fast Boot が Enabled に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

∽ NVMe Support

NVMe デバイスの高速ブート・サポートを有効または無効にすることができます。 Fast Boot が Enabled に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

☞ UFS Support

UFS デバイスの高速ブート・サポートを有効または無効にすることができます。 Fast Boot が Enabled に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

☞ USB Support

Disable Link	OS ブートプロセスが完了するまで、全USB デバイスは無効になります。
Full Initial	オペレーティングシステムおよび POST 中は、全 USB デバイスは機能
	します。
Partial Initial	OS ブートプロセスが完了するまで、一部の USB デバイスは無効にな
	ります。

Fast Boot が Enabled に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

∽ NetWork Stack Driver Support

Disable Link
 Avトワークからのブートを無効にします。
 Enabled
 ネットワークからのブートを有効にします。
 Fast Boot が Enabled
 に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

∽ Redirection Support

リダイレクト・サポートを有効または無効にすることができます。 Fast Boot が Enabled に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

☞ Pei Display Support

無効(Disabled)に設定すると、Intel Pei グラフィック・ドライバーはスキップされます。 Fast Boot が Enabled に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

∽ Mouse Speed

マウスカーソルの移動速度を設定します。

∽ Administrator Password

管理者パスワードの設定が可能になります。この項目で < Enter>を押し、パスワードをタイプ し、続いて < Enter>を押します。パスワードを確認するよう求められます。再度パスワードを タイプして、 < Enter>を押します。システム起動時およびBIOS セットアップに入るときは、管理 者パスワード (またはユーザー パスワード) を入力する必要があります。ユーザー パスワー ドと異なり、管理者パスワードではすべての BIOS 設定を変更することが可能です。

☞ User Password

ユーザーパスワードの設定が可能になります。この項目で <Enter> を押し、パスワードをタ イプし、続いて <Enter> を押します。パスワードを確認するよう求められます。再度パスワー ドをタイプして、<Enter> を押します。システム起動時およびBIOS セットアップに入るときは、 管理者パスワード(またはユーザーパスワード)を入力する必要があります。しかし、ユーザ ーパスワードでは、変更できるのはすべてではなく特定の BIOS 設定のみです。 パスワードをキャンセルするには、パスワード項目で <Enter> を押します。パスワードを求め られたら、まず正しいパスワードを入力します。新しいパスワードの入力を求められたら、パ スワードに何も入力しないで <Enter> を押します。確認を求められたら、再度 <Enter> を押し ます。

注:ユーザーパスワードを設定する前に、最初に管理者パスワードを設定してください。

Secure Boot

セキュアブートを有効または無効設定することができます。

∽ Preferred Operating Mode

BIOSセットアップに入った後に、EasyModeとAdvancedModeのどちらに入るかを選択できます。 Autoは前回使用したBIOSモードに入ります。

Save & Exit

CADRUS		EASY MODE	ADVANCED MODE	^{9/16/2024} 14:28
Favorites (F11) 63 Tweaker	Settings	③ System Info.	<u>් 8000</u>	Save & Dit
Sive & Ext Setup Exit Without Swing Load Optimized Defaults Boot Override			CPU Frequency 5001.13MHz Med Temperature 51.0 °C	BCLK 203 100.00MHz 10 P-core/E-core Voltag 1.113 V 0.979
Save Profiles Load Profiles			Memory Frequency 4800/14MT/s Module MFG ID ADATA	Size 16384MB DRAM MFG ID Hynix
			Voltage PCH 082V 0.814 V +12V 12.060 V CPU Bisouts 85.136 CP	4.987 V 4.987 V VCCSA 1.056 V
Exit BIOS saving all changes made.			🎇 Smart Fan 6 (F6) 🔹 Q-Flash (F8)	@ Help (F1) Q

∽ Save & Exit Setup

この項目で <Enter> を押し、Yesを選択します。これにより、CMOS の変更が保存され、BIOS セットアッププログラムを終了します。Noを選択するかまたは <Esc> を押すと、BIOS セットアップのメインメニューに戻ります。

☞ Exit Without Saving

この項目で<Enter>を押し、Yesを選択します。これにより、CMOSに対して行われたBIOSセットアップへの変更を保存せずに、BIOSセットアップを終了します。Noを選択するかまたは<Esc>を押すと、BIOSセットアップのメインメニューに戻ります。

∽ Load Optimized Defaults

この項目で <Enter> を押し、Yesを選択して BIOS の最適な初期設定を読み込みます。BIOS の初期設定は、システムが最適な状態で稼働する手助けをします。BIOS のアップデート後または CMOS 値の消去後には必ず最適な初期設定を読み込みます。

☞ Boot Override

直ちに起動するデバイスを選択できます。選択したデバイスで<Enter>を押し、Yesを選択して確定します。システムは自動で再起動してそのデバイスから起動します。

∽ Save Profiles

この機能により、現在のBIOS 設定をプロファイルに保存できるようになります。最大8つの プロファイルを作成し、セットアッププロファイル1~セットアッププロファイル8として保 存することができます。<Enter>を押して終了します。またはSelect File in HDD/FDD/USBを選 択してプロファイルをストレージデバイスに保存します。

∽ Load Profiles

システムが不安定になり、BIOSの既定値設定をロードした場合、この機能を使用して前に作成されたプロファイルから BIOS 設定をロードすると、BIOS 設定をわざわざ設定しなおす煩わしさを避けることができます。まず読み込むプロファイルを選択し、<Enter>を押して完了します。Select File in HDD/FDD/USBを選択すると、お使いのストレージデバイスから以前作成したプロファイルを入力したり、正常動作していた最後のBIOS設定(最後の既知の良好レコード)に戻すなど、BIOSが自動的に作成したプロファイルを読み込むことができます。